



Hands On

特定非営利法人 日本臨床歯周病学会

第44回年次大会

2026 ハンズオンセミナー in 札幌

「インプラント周囲炎を引き起こさないインプラント治療を目指して」

～基礎医学的背景から臨床的勘所まで～

2026 **6/19** 土
10:00～16:30

会場 札幌コンベンションセンター

〒003-0006
北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

定員 20名

参加費 65,000円(税込)

(材料代含む・別途年次大会参加登録が必要です)

インプラント治療では外科的侵襲、感染病変の拡大および退行性変化などによってインプラント埋入部の骨量が不足する症例が多く、近年ではGBRに代表される各種骨造成術が併用されることが一般的である。しかしながら、これは術者側の手技の取得・向上と患者側の負担増加が前提であり、ここでの不十分な対応はのちのインプラント周囲炎の誘因とも考えられる。そこで抜歯前に存在する既存骨を保存することの優位性が報告され、リッジプリザベーションという用語が定着してきた。特に審美領域では歯が保有する「摂食・発音・審美」という役割を全て回復できてはじめて治療の成功と評価されることから多くの工夫が求められる。

本ハンズオンでは、「インプラント周囲炎を引き起こさないインプラント治療を目指して」というタイトルで下記に示す内容をプログラムさせていただいた。



講師 牧草 一人 先生

日本歯周病学会歯周病専門医・指導医

インタラクティブ
instructor



安藤 壮吾 先生



高田 智史 先生



阿部 健一郎 先生



相宮 秀俊 先生

contents

講義と模型実習

(Level 1: 初級、Level 2: 中級、Level 3: 上級)

※本セミナーは、当日の講義・実習をスムーズに受講頂けるよう、事前解説資料・動画が付属します

1. ハンズオンオーバービュー
2. (Level 1) インプラント治療に役立つ切開・剥離・縫合
3. (Level 1) 安定したインプラント周囲組織を構築する臨床手法
-プラットフォームスイッチングの基本概念と臨床的意義-
4. (Level 2) 顎骨の再生 vs 顎骨の保存
5. (Level 2) GBRを併用した臼歯部インプラント埋入実習
6. (Level 3) 上顎前歯部における抜歯即時埋入から補綴の勘所まで

お申し込みは
こちらから

PCからは下記のURL、スマートフォンからは右記のQRよりお申し込みください。

PC <https://va.apollon.nta.co.jp/jacp44/>

SP

